

特記仕様書

I. 工事概要

北部清掃工場
新揚水ポンプ所（仮称）新築ほか2箇所電気設備工事

鹿児島市犬迫町1 1 9 0 0 番地ほか

本工事の工期は、令和 9 年 3 月 5 日までとする。

建物概要

施設名称	構造	階数	延べ面積 (㎡)	消防法施行令 別表第一
新揚水ポンプ所	鉄筋コンクリート造	地上平家建	(ポンプ室) 37.96 (ポンプ井) 100m3	1 5 項
横井古別府水源地	—	—	—	—
北部清掃工場配水池	—	—	—	—

※〇建築基準法による表記 ・文部科学省算定床面積 ・その他（ ）

施設別工事種目

施設名称	新揚水ポンプ所	横井古別府水源地	北部清掃工場配水池
工事種目			
〇引込設備	〇電源切替盤機能増設	〇引込開閉器壁	〇引込開閉器壁
〇動力設備	〇送水ポンプ制御壁	〇取水ポンプ制御壁	
〇計装設備	〇次室注入設備制御壁		
	〇電極切替・中継箱収納壁	〇取水量計	〇配水池計装テレメータ一壁
	〇ポンプ井満度計	〇取水井水位計	〇電極切替・中継箱収納壁
	〇ポンプ井残留量累計		〇配水池水位計
	〇送水流量計		
	〇ポンプ井水位計		
	〇低圧幹幹盤機能増設		
	〇中央監視盤機能増設		
	〇監視制御装置機能増設		

鹿児島市建設工事請負契約書第33条に基づく部分使用

・無 〇有（範囲、時期については監督員の指示による）

鹿児島市建設工事請負契約書第38条に基づく指定部分

〇無 〇有（範囲、時期については監督員の指示による）

II. 一般事項

① 本工事は、公共工事であることを十分に認識し、工事の施工に当たって必要な官公署その他への手続きは速やかに行い、建築基準法、労働安全衛生法、建設工事公衆災害防止対策要綱及びその他関係法令を遵守し、災害及び事故の防止並びに環境の保全に努めること。

② 本工事の施工において、関係法令により資格が必要な作業については有資格者が行うこと。

③ 本工事の関連工事に従事する別契約の受注者とは、関連の工程・段取り等を事前に十分協議し、相互理解の上で施工すること。

④ 安全管理をはじめとする、その他の諸管理に十分留意して作業を行うこと。

⑤ 本工事の施工に当たっては、地場産業育成の見地に立ってでき得る限り、市内の専門業者や労働者の活用を図ること。また、資材についても同じように市内業者からの購入に努めること。

⑥ 元請業者は、下請業者の施工能力の向上・雇用管理・労働安全管理等の措置に関し、必要な指導、助言その他の援助を行い、両者の合理的な関係の確立に努めること。

⑦ 建設工事の一部を下請に付する場合は、施工体制台帳及び添付書類を作成し、工事現場に備え置くとともに、その写しを監督員に遅滞なく（遅くとも下請工事の着手前までに）提出すること。また、施工体制台帳の記載事項又は添付書類に変更があったときは、その都度、当該変更があった年月日を付記して、変更に関する事項について、作成し提出すること。

⑧ 工事を施工するために、建設工事の一部又は以下の各号の業務を下請に付する場合は、施工体系図を作成し、工事期間中、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲示するとともに、その写しを監督員に遅滞なく（遅くとも下請工事又は業務の着手前までに）提出すること。また、施工体系図の記載事項に変更があったときは、その都度、変更に関する事項について、作成し提出すること。

（1）伏採及び測量・調査等の工事現場で作業を行う業務

（2）土砂やコンクリート殻等の運搬のみを行う業務

（3）工事現場の警備（交通誘導を含む）を行う業務

（4）その他監督員が記載を指示した業務等

⑨ 本工事の施工業者は、建設業退職金共済制度の趣旨をふまえ、この制度の活用に努めること。

⑩ 建設業法第26条及び同施行令第27条に規定する監理技術者については、指定建設業監理技術者資格者証の交付を受けたものを選任し、その工事現場の専任とするものとする。

⑪ 設計図書に明記なき事項といえども、機能上、技術上必要と認められるものは監督員と協議のうえ、施工すること。

⑫ 受注者は、工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報システム（CORINS）に基づき、受注・変更・完成・訂正時の工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後10日以内（土、日、祝日等を除く）に、登録内容の変更時は変更があった日から10日以内（土、日、祝日等を除く）に、完成時は工事完成後10日以内（土、日、祝日等を除く）に（一財）日本建設情報総合センターに登録しなければならない。また、登録完了後は、（一財）日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」を、直ちに監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できる。

⑬ 気象予報又は警報等について、常に注意を払い、災害の予防に努める。なお、地震、大雨及び台風等が発生した場合は、直ちに工事現場の被災状況を調査し、被災の有無にかかわらずその状況を監督員に報告すること。

⑭ 災害及び事故が発生した場合は、人命の安全確保を優先するとともに二次災害の防止に努め、その経緯を監督員に報告し、適切に対応すること。

（低入札価格調査に基づく措置）

低入札価格調査基準価格未満の価格での受注者に対しては、次に掲げる措置を講じるものとする。

⑮ 施工体制の強化

（1）低入札価格調査の対象となった工事（以下「調査対象工事」という。）には、専任の主任技術者等を配置すること。

（2）調査対象工事を施工する場合において、契約日の属する年度及びその前年度に完成した工事に關し、次のいずれかに該当する場合は、配置すべき主任技術者又は監理技術者とは別に、同等の要件を満たす技術者を専任で1人配置すること。

ア 6 5 点未満の工事成績評定を通知された場合

イ 工事請負契約書に基づき修補又は損害賠償を請求された場合

ウ 品質管理・安全管理に関し、指名停止又は書面による警告・注意の喚起を受けた場合

エ 自らに起因して工期を大幅に遅らせた場合

⑯ 監督体制の強化

（1）受注者は、施工体制台帳を提出し、その内容についてのヒアリングを求められたときは、これに応じなければならない。

（2）受注者は、特記仕様書に基づく施工計画書を提出し、その内容についてのヒアリングを求められたときはこれに応じなければならない。

（工事施工）

⑰ 工事現場での通行、運搬、掘削、舗装等の作業に当たっては、特に現場周辺の住民及び通行人への危険防止に万全の注意を払うとともに、昼夜間を問わず、十分な安全対策を行い、事故の皆無を期すること。また、工事現場周辺の側溝、その他の公共物を土砂やモルタル等の残材等で埋没させないように注意すること。埋没させた場合は速やかに受注者の負担で復旧すること。

⑱ 本工事の施工現場の詰め所等においては、火気責任者を定め、火気の取り扱いには十分注意すること。（下請業者への指導を含む。）

⑲ 本工事の施工に当たって、支障物件を発見し、工事の進捗に影響があると思われる場合には、速やかに監督員に連絡し、互いに協議の後、監督員の指示により処理すること。なお、軽微なものについて、これに要する費用は受注者の負担とする。

（屋内に使用する材料等）

20. ホルムアルデヒドを発散する資材を使用する場合、居室内はF☆☆☆☆規格、居室へホルムアルデヒドが流入する恐れのある床下及び天井裏は、F☆☆☆規格以上にそれぞれ適合すること。但し、これによりがたい場合は監督員と協議し、承諾を得ること。

※ 対象となる材料

木質建材（合板、木質フローリング、パーティクルボード、MDF等）、壁紙、ホルムアルデヒドを含む断熱材、保温材、接着剤、仕上り塗料等。

注）ドアガラリ等により連通され、居室への流入が見込まれるトイレ等は、居室と一体化とみなす。

21. クロルビリホスを添加しないこと。クロルビリホスを添加した材料でないこと。

22. 塗料は、ホルマリン不検出のもので、水性系のものとする。（水廻り及び湿度の高い箇所を除く。）但し、有機溶剤系塗料を使用する場合は、トルエンやキシレンの拡散が極力小さいものとする。

（契約不適合担保責任検査）

⑳ 契約不適合担保責任（鹿児島市建設工事請負契約書第4 1 条）の確実な履行を図るため、受注者は、契約不適合責任期間の満了前に、受注者の負担で、契約不適合担保責任検査を実施すること。受注者は、発注者から契約不適合担保責任検査実施の通知を受けた場合は発注者の指定する方法により速やかに契約不適合担保責任検査の実施日及び報告書提出日を回答したうえで、契約不適合担保責任検査を実施し、その結果を報告すること。なお、履行の追完方法は発注者と協議のうえ、実施すること。

（火災保険等）

㉑ 請負契約締結後速やかに、次の工事保険に加入し、証券又はこれに代わるもの（保険証券等）の写しを直ちに監督員に提出すること。保証期間は工期後満21日間（24時まで）とする。

〇火災保険等（工事目的物及び工事材料（支給材料を含む）等）等）等）等）等に生じる損害を填補）

〇請負業者賠償責任保険（工事の施工に伴い第三者に与えた損害を填補）

保険内容が含まれる火災保険、建設工事保険、組立保険等でも可とする。その場合、保険証券等により保険内容が確認できるものであること。

（法定外労災保険の付保等について）

㉒ 法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。なお、当該保険契約を締結したときは、その証券またはこれに代わるもの（保険証券等）の写しを直ちに監督員に提出すること。保証期間は工期後満21日間（24時まで）とする。

㉓ 墜落制止用器具の使用について

高さが2m以上の作業床がない箇所、または作業床の端・開口部等で囲い・手すり等の設置が困難な箇所における作業については、労働者の危険を防止する手段として、墜落制止用具の使用を講じること。

（前払金・中間前金払）

㉔ 前払金 ※請求することができる 〇令和7年度中は請求することは出来ない

㉕ 中間前金払

（1）請負金額が1 0 0 万円以上で年度内に完成する工事は、契約時において中間前金払か部分払のいずれかを選択すること。なお、契約に当たり部分払をすることを選択した場合は、中間前金払は行わない。

（2）中間前金払を受けるための要件（全て満たすこと。）

ア 請負金額の1 0 分の4 の前金払がなされていること。

イ 工期の2 分の1 を経過していること。

ウ 工程表により工期の2 分の1 を経過するまでに実施するべきものとされている当該工事に係る作業が行われていること。

エ 既に行われた当該工事に係る作業に要する経費が請負金額の2 分の1 以上の額に相当するものであること。

（3）中間前払金の割合について

請負代金の1 0 分の2 以内とする。ただし、中間前払金を支出した後の前払金の合計額が請負代金の額の1 0 分の6 を超えてはならないものとする。

（週休2 日工事について）

㉖ 週休2 日工事について

（1）本工事は、週休2 日工事の対象である。

（2）本工事に当たっては、「建築工事（営繕）及び設備工事（電気・機械）における週休2 日工事実施要領（令和7 年1 0 月1 0 日施行）（以下、「実施要領」という。）」に基づき行うものとする。

（3）実施要領は、鹿児島市水道局ホームページから入手できる。

（桜島地区の工事について）

30. 本工事は、「桜島地域営繕工事における渡船料算出等取扱要領」に基づき対応を行う。

「桜島地域営繕工事における渡船料算出等取扱要領」は鹿児島市ホームページから入手できる。

（路上工事の一時中止について）

31. 「鹿児島県域の路上工事縮減に関する行動計画」に基づき、下記の期間は路上の工事を原則一時中止するものとする。

・令和 8 年 4 月 日（ ）22時から令和 8 年 5 月 日（ ）9時 事由：ｺｰﾚｸｼｮﾝｲｷ

・令和 8 年 8 月 日（ ）22時から令和 8 年 8 月 日（ ）9時 事由：お盆

・令和 8 年12月 日（ ）22時から令和 9 年 1 月 日（ ）9時 事由：年末年始

なお、日時は変更することもあるため、詳細については監督員と協議し、かつその指示に従うものとする。

（街区基準点等について）

32. 街区基準点等付近での工事等については、街区基準点等の亡失、き損の防止を念頭に、「鹿児島市国土調査標識等管理保全要綱」に従い、所定の様式を監督員に提出し、監督員の指示に従わなければならない。

33. 工事の施工において、施工範囲に境界点、公共基準点等の標識が設置されている場合においても亡失、き損してはならない。工事の支障となる場合は、監督員へ報告の上、保護・復旧措置等について協議するものとする。

（暴力団関係者等による不当介入を受けた場合の措置）

㉔ 暴力団関係者等による不当要求又は工事妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、その旨を遅滞なく発注者及び警察に通報すること。また、暴力団関係者等による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

（環境基本計画）

㉕ 本工事に伴う環境への影響を抑制するため、工事車両通行往復ルートの分別、交通整理員の配置、走行速度の制限、ルートの設定等の対策を講じること。

㉖ 本工事に使用する建設機械については、原則として「国等による環境物品等の調達推進等に関する法律」第1 0 条第1 項に基づく「環境物品等調達方針」に適合するものを使用すること。

㉗ 本工事に伴い提出する関係書類については、可能な限り「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」第1 0 条第1 項に基づく「環境物品等調達方針」適合製品又はエコマーク製品、グリーンマーク製品などの環境ラベリング製品を使用すること。

㉘ 本工事に伴い提出する関係書類については、写真やメーカー提供の資料等、両面印刷では支障を生ずるものは除き、可能な限り、両面印刷すること。

㉙ 工事に伴い発生する廃棄物については、缶・ビン、ペットボトル、プラスチック容器類を搬出しやすいような分別ボックスの設置スペース又は分別ヤードを設置するなどして、分別の徹底及びリサイクルに務めること。

（低騒音型建設機械の使用の原則化）

㉚ 本工事は「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」（昭和62年3月30日建設省経機発第58号）に基づき「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成9年建設省告示第1536号）により指定された低騒音型建設機械の使用を原則とする。なお、低騒音型建設機械の使用の有無を施工計画書に明示し、工事完成図書に写真を添付すること。

（現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合）

㉛ 現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合

現場代理人は現場に常駐し、その運営、取締りを行うこととされているが、以下のいずれかの要件を満たす場合には、工事請負契約書第10条第3項の「工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がない」として取り扱うこととする。ただし、いずれの場合にも連絡が常にとれる体制を確保する必要や、現場保全の義務（現場の巡回等）があるため、現場代理人を設置しておくことは必要である。

（1）契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間。

（2）工事請負契約書第20条により工事が一時中止されている期間。

（3）橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間。

また、同一工場内で他の同種工事に係る製作と一元的な管理体制のもとで製作を行うことが可能である場合は、同一の現場代理人が、これらの製作を一括して運営、取締りを行うことができるものとする。

（4）前3号に掲げる期間のほか、受注者から工事完成の通知があり、完成検査、事務手続、後片付け等のみが残っているなど、工事現場において作業等が行われていない期間。

㉜ 発注者への報告

前項の要件を満たす場合は、現場代理人の工事現場における常駐は不要とし、他の工事と兼務することを可能とするが、「工事打合簿」等により、工事現場において作業等が行われていない期間を明確にしておくこと。

（現場代理人の兼任）

㉝ 現場代理人の兼任を認める工事

現場代理人は、請負契約の的確な履行を確保するため、工事現場の運営、取締りのほか、工事の施工及び契約関係事務に関する一切の事項（請負代金の変更、契約の解除等を除く。）を処理する受注者の代理人であるが、次の（1）から（5）の全てを満たし、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がないと発注者が認めた場合、工事現場の兼任を認めるものとする。

なお、専任の主任（監理）技術者と現場代理人を兼務する場合において、専任の技術者配置の特例により他の現場と兼任が認められた工事については、（2）、（4）、（5）の要件を満たすものとし、兼任できる工事は2件までとする。

（1）兼任できる工事は3件までとし、それぞれの工事の請負金額が4,500万円未満であること。ただし、設計変更により、工事の請負金額が4,500万円以上となり、各々の工事における主任（監理）技術者と現場代理人が異なる場合においては、受発注者協議の上、兼任することとする。

（2）発注者又は監督員と常に携帯電話等で連絡が取れること。

（3）兼任する工事の相互の移動は、概ね1時間以内であること。

（4）発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応を行うこと。

（5）兼任する現場代理人は、必ず担当工事現場のいずれかに常駐するとともに、1日1回以上担当工事現場を巡回し、現場管理等に当たること。また、それぞれの現場稼働日は重複しないこと。

㉞ 手続き

現場代理人の兼任を行う場合には、「現場代理人の兼任（変更）申請書（第11-1号様式）」を提出し、発注者の承認を得たのち、必要に応じ、「現場代理人等変更通知書」により、発注者に通知すること。

なお、それぞれの工事において、発注者に現場代理人の兼任の承認を得ること。

㉟ 受注者に対する措置請求

安全管理の不徹底や現場体制の不備に起因する事故等が発生した場合、建設工事請負契約書第12条に基づき、受注者に対して、必要な措置を取るべきことを請求するものとする。

（監理技術者等の途中交代）

㊱ 「監理技術者制度運用マニュアル」に明記された監理技術者等の途中交代に関する条件に該当し、受注者と発注者が協議し、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められる場合は途中交代が可能となる。

（監理技術者等の途中交代の試行について）

㊲ 本工事は、工程上一定の区切りと認められる時点で、監理技術者又は主任技術者の途中交代を認める試行工事である。

（1）工程上一定の区切りと認められる時点とは、品質管理・出来形管理が必要な工事目的物の施工が完了した時点とし、仮設備の撤去、後片付け及び検査等を行う期間は、監理技術者等の途中交代を認めることとする。

（2）受注者と発注者が協議し、工事の継続性、安全管理、工程等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。なお、総合評価落札方式の場合は、当該工事の入札契約手続における競争参加資格を満足する者を配置しなければならない。

（施工体制点検等への協力）

㊳ 請負代金額が4,500万円（建築一式工事は9,000万円）以上の工事においては、「鹿児島市施工体制点検要領」に基づく点検を、また請負代金額が4,500万円（建築一式工事は9,000万円）未満の建設工事の下請契約を締結した工事においては、同要領の枠組外における「一括下請負に関する確認」を実施するので、受注者はこれに協力すること。

㊴ 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。

㊵ 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することがないようにすること。

㊶ さし枠の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが、工事現場に出入りすることがないようにすること。

㊷ 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下「法」という）の目的に鑑み、法第1 2 条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。

㊸ 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。

㊹ 49項から54項のことにつき、下請契約における受注者を指導すること。

（電子納品）

㊺ 電子納品

（1）本工事は、電子納品試行対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「鹿児島市電子納品運用ガイドライン（案）【建築・設備編】」（以下、ガイドラインという。）に定める基準に基づいて作成した電子データを指す。

（2）ガイドラインに基づいて作成した電子成果品は電子媒体（CD-R又はDVD-R）で正本1部、副本1部の計2部提出する。電子化しない成果品については従来どおりの取扱とする。電子納品レベル及び成果品の電子化の範囲については、事前協議を行い決定するものとする。

（架空線の防護措置について）

㊻ 架空線の防護措置における防護管設置については、受注者が架空線管理業者と協議するものとし、防護管設置の必要があるとされた場合は、監督員と協議により設計変更の対象とする。（公共工事における現場一斉閉所の実施について）

㊼ 受注者は、公共工事における現場一斉閉所の実施に協力するものとする。なお、現場閉所の実施への協力は、受注者の判断によるもの（任意）とし、実施の有無等について発注者への報告は必要ないものとする。なお、県ホームページに本取組みに係るチラシを掲載しているので確認のこと。

III. 建設副産物

（共通事項）

① 発生材の処理

（1）引渡しを要するもの 〇有（ ）無

（2）廃棄処分するもの 〇有 〇無

（3）再生処理又は再資源化を図るもの 〇有 〇無

② 建設副産物の処理における、運搬及びその処理費用は本工事費に含む。

③ 建設副産物は、再生処理又は再資源化することを原則とし、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」、「建設工事公衆災害防止対策要綱」、「建設副産物適正処理推進要綱」及び「鹿児島市建設局における再生資源活用工事実施要領（鹿児島市）」を遵守するとともに、マニフェスト（産業廃棄物管理票）システムにより適正処理を行うこと。また、産業廃棄物の運搬又は処分を委託する場合は、契約書及び、許可証の写しを監督員に提出すること。

④ 受入機関の事業所名等がわかる看板を背景に、建設副産物の処分状況等が確認できる写真（車両に積載された状態）の撮影を行い、工事写真帳へ貼付すること。ただし、処分場内での荷下ろし状況については監督員の指示による。

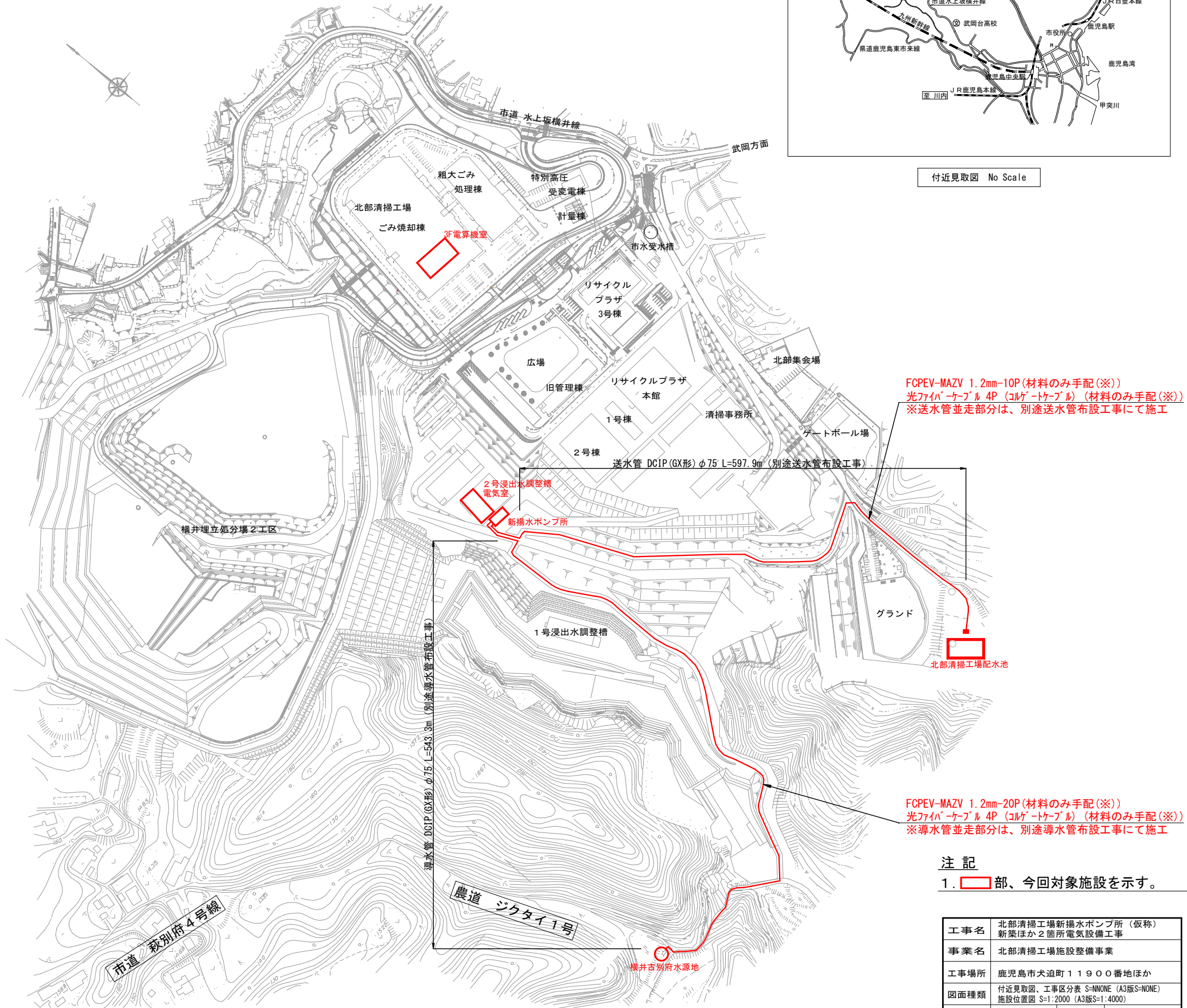
工事名	北部清掃工場新揚水ポンプ所（仮称）新築ほか2箇所電気設備工事		
事業名	北部清掃工場施設整備事業		
工事場所	鹿児島市犬迫町1 1 9 0 0 番地ほか		
図面種類	特記仕様書（1）		
図面番号	全 15 の 1	作成年月	令和 7 年 3 月
鹿児島市 環境局 資源循環部		北部清掃工場	

株式会社NJS
TEL:092-281-9052

工事区分表

施設名称	項目	本体その他工事	機械設備工事	電気設備工事	排水管・布設工事	送水管・布設工事	備考
新掃水ポンプ所仮称	場内整備	掘削・埋戻し	○	○	○	○	各工事別
	掘削・埋戻し（配管共通部分）				○		
	舗装剥ぎ取り	○	○	○	○	○	各工事別
	舗装復旧（床掘・配管共通部分）						
	舗装復旧（電線管単独部分）			○			
	躯体関係	構造体設備用貫通箱入れ及びスリーブ	○	○	○		各工事別（予備スリーブ含む）
	同上開口補強		○				
	同上開口補修		○	○			各工事別
	躯体配管（防水つば付き配管）		○				
	同上開口補強		○				
	防水塗装（ポンプ井内）		○				
	シンダーコンクリート		○				
	次重防液堤		○				
	耐薬品塗装		○				防液堤内
	設備基礎	床土機器基礎及び仕上げ	○				機械・電気設備基礎
	架台・アンカーボルト等		○	○			各工事別
	場内配管	埋設配管（導水管）			○		取合い部フランジ接合含む
	埋設配管（送水管）				○		取合い部フランジ接合含む
	埋設配管（排水管）				○		
	露出配管（ポンプ井内外）		○				配管サポート含む
	露出配管（ポンプ室内機器周り配管）		○				配管サポート含む
	建築付帯	グレーチング（枠・設置含む）	○				ポンプ室内
	衛生設備（給水栓、手洗い器）	○					
	衛生設備（給水管）		○				サンプリングから分岐
	換気設備（換気扇）	○					深型フード含む
	電気設備（照明器具、配線器具、分電盤）	○					レースウェイ含む
	送水ポンプ設備	送水ポンプ制御盤		○			
	送水ポンプ		○				
	同上周辺仕切弁等		○				
	同上電源送り			○			配線接続含む
	次重注入設備	次重注入設備制御盤		○			
	次重タンク		○				
	同上液位計		○				信号送りは電気設備
	次重注入ポンプ		○				
	同上電源送り			○			
	次重注入管、次重貯留槽通気管		○				
	防液浸漏液検知電極			○			
計装設備	電極切替・中継箱収納盤			○			
	送水流量計			○			
	同上検出部フランジ接合			○			
	ポンプ井水位計			○			
	ポンプ井満度計			○			
	ポンプ井残留塩素計			○			
	サンプリングポンプ			○			
	サンプリング管（引込管、ポンプから計器）			○			
	水質計器排水管			○			
	場内整備	掘削・埋戻し		○	○		各工事別
	掘削・埋戻し（配管共通部分）				○		
	舗装復旧				○		
	設備基礎	床土機器基礎及び仕上げ		○	○		機械・電気設備基礎
場内配管	架台・アンカーボルト等			○	○		各工事別
	埋設配管（導水管）				○		取合い部フランジ接合含む
引出設備	露出配管（機器周り配管）			○			配管サポート含む
	引込開閉器盤			○			
取水ポンプ設備	引込柱			○			コンクリート根柢含む
	取水ポンプ制御盤			○			
取水ポンプ	取水ポンプ			○			付属電源ケーブル含む
	同上電源送り				○		P.BOX内で配線接続
同上揚水管（深井戸内）	同上揚水管（深井戸内）			○			フランジ接合含む
	取水井水位電極				○		P.BOX内で配線接続
同上取付	圧力タンク			○			
	ポンプ井保護管コンクリート補強			○			
計装設備	取水流量計			○			
	同上検出部フランジ接合			○			
	取水井水位計			○			
	同上保護管			○			予備も含む
北部清掃工場配水池	場内整備	掘削・埋戻し		○	○		各工事別
	掘削・埋戻し（配管共通部分）				○		
	場内配管	埋設配管（導水管）				○	躯体貫通処理含む
	引出設備	引込開閉器盤			○		
	引込柱			○			コンクリート根柢含む
計装設備	計装テレメーター盤			○			
	電極切替・中継箱収納盤			○			
	配水池水位計			○			
	配水池電極			○			
導水管・送水管	公道上整備	掘削・埋戻し			○	○	各工事別
	掘削・埋戻し（配管共通部分）					○	
	舗装剥ぎ取り・復旧					○	各工事別
	舗装剥ぎ取り・復旧（配管共通部分）					○	
	場内配管	埋設配管（導水管）				○	
	埋設配管（送水管）					○	
	制御ケーブル敷設	埋設ケーブル（水源池～掃水ポンプ所）				○	
同上布設（配管並走部分）	同上布設（配管並走部分）					○	
	同上布設（ケーブル単独部分）					○	壁内での配線接続含む
	埋設ケーブル（掃水ポンプ所～配水池）					○	
	同上布設（配管並走部分）					○	
	同上布設（ケーブル単独部分）					○	壁内での配線接続含む

施設位置図

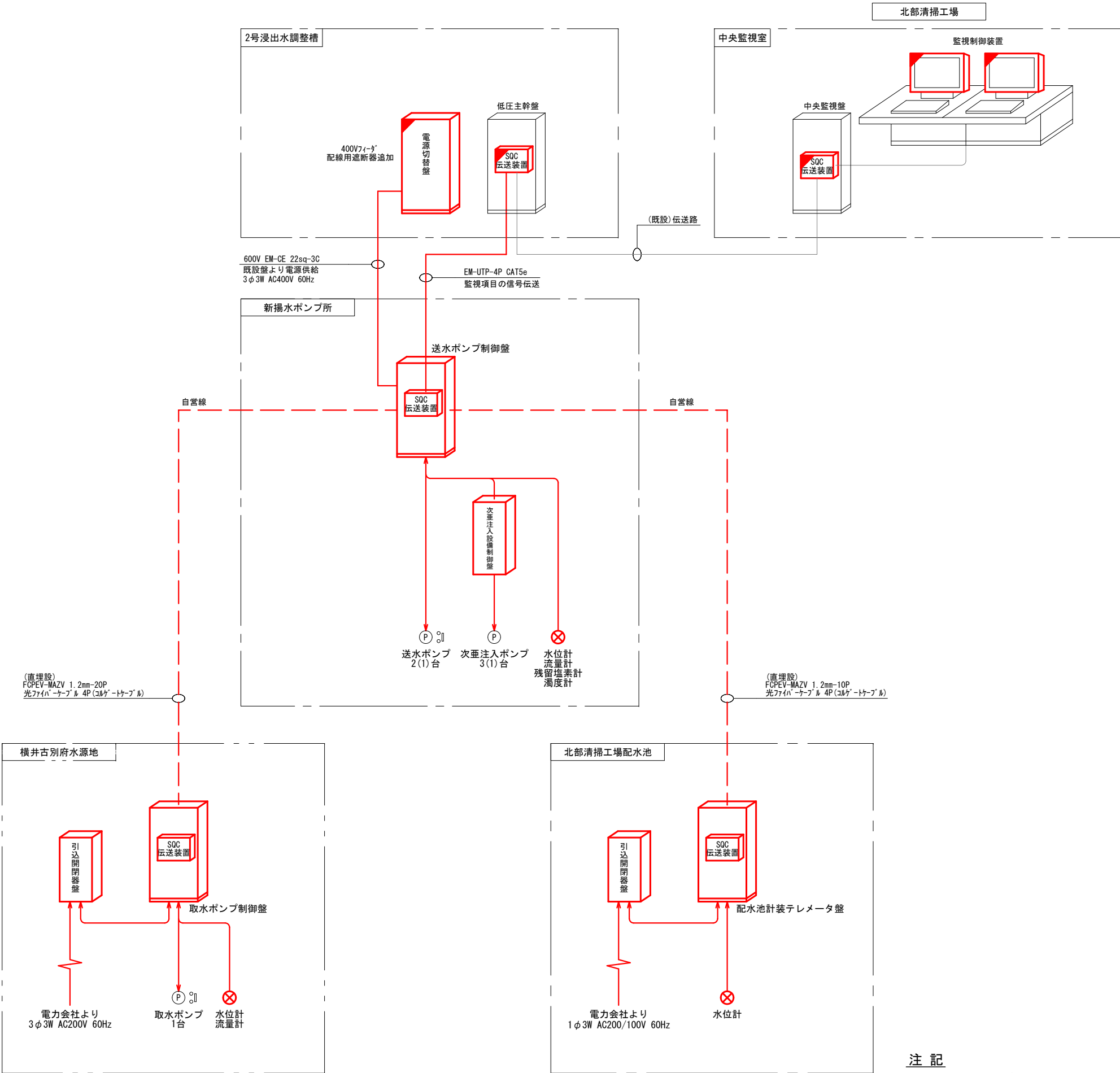


FCPEV-MAZV 1.2mm-10P (材料のみ手配※)
光ファイバーケーブル 4P (コルゲートケーブル) (材料のみ手配※)
※送水管並走部分は、別途送水管布設工事にて施工

FCPEV-MAZV 1.2mm-20P (材料のみ手配※)
光ファイバーケーブル 4P (コルゲートケーブル) (材料のみ手配※)
※導水管並走部分は、別途導水管布設工事にて施工

注 記
1. 部、今回対象施設を示す。

工事名	北部清掃工場新掃水ポンプ所（仮称） 新築ほか2箇所電気設備工事
事業名	北部清掃工場施設整備事業
工事場所	鹿児島市犬迫町11900番地ほか
図面種類	付近見取図、工事区分表 S=NONE (A3版S=NONE) 施設位置図 S=1:2000 (A3版S=1:4000)
図面番号	全 15 の 3
作成年月	令和 7 年 3 月
鹿児島市 環境局 資源循環部 北部清掃工場	



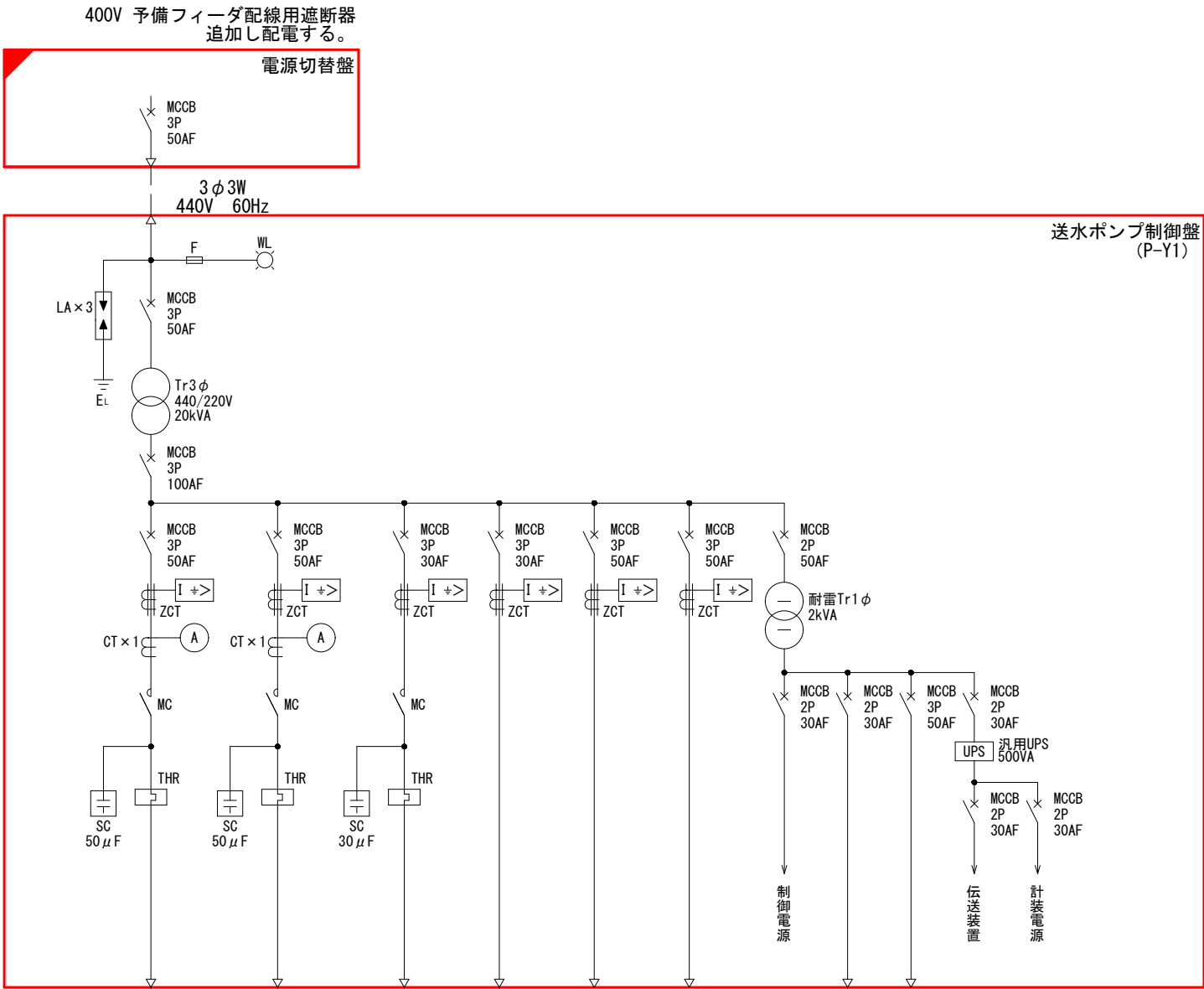
注 記

1. 部、太線部は今回を示す。
2. 部は機能増設を示す。

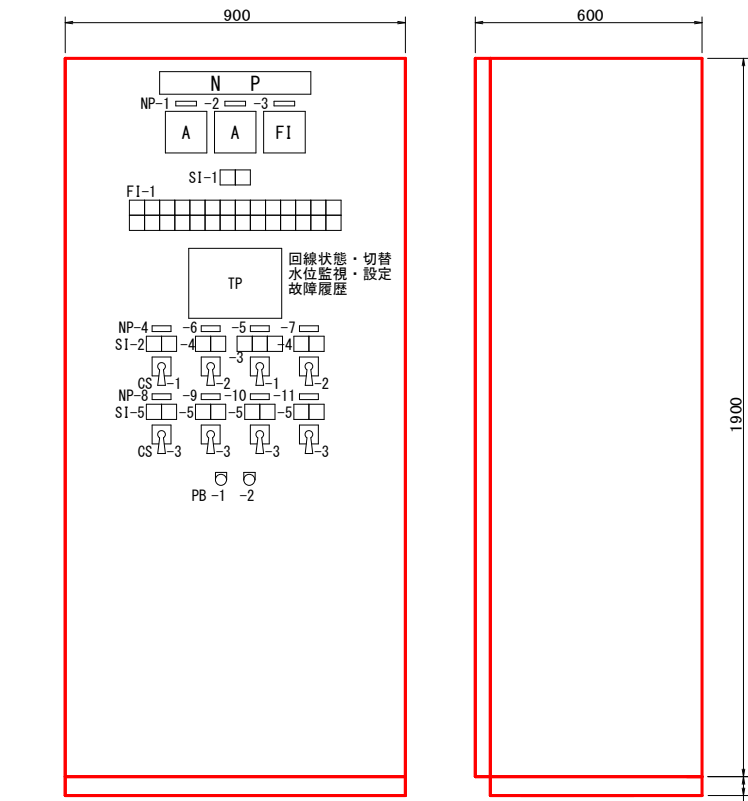
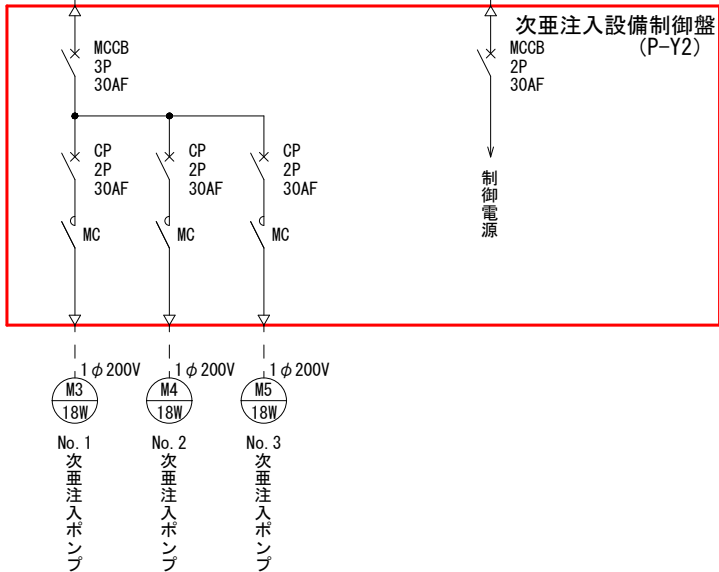
工事名	北部清掃工場新揚水ポンプ所（仮称） 新築ほか2箇所電気設備工事		
事業名	北部清掃工場施設整備事業		
工事場所	鹿児島市犬迫町11900番地ほか		
図面種類	システム構成図 S=NONE (A3版S=NONE)		
図面番号	全 15 の 4	作成年月	令和 7年 3月

鹿児島市 環境局 資源循環部 北部清掃工場

株式会社MJS
TEL092-281-9052

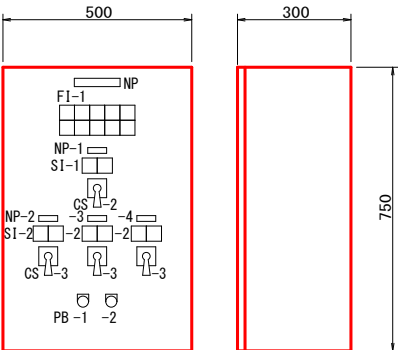


凡 例			
MCCB	配線用遮断器	A	電流計
ELCB	漏電遮断器	CT	変流器
MC	電磁接触器	ZCT	零相変流器
SC	進相コンデンサ	CT	変流器
THR	熱動継電器	I + >	地絡過電流継電器
WL	電源表示灯	LA	避雷器
F	保護ヒューズ	Tr	変圧器



正面図
<P-Y1>
送水ポンプ制御盤 S=1:10
(SS製屋内自立形)

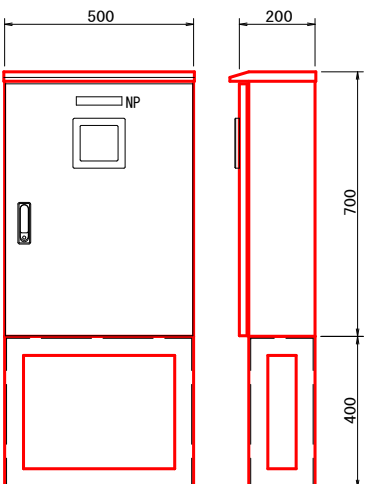
動力主幹 MCCB断	No.1 送水ポンプ 過負荷	No.2 送水ポンプ 過負荷	次垂制御盤 MCCB断	サンプリング ポンプ 過負荷	電灯動力盤 (エアコン) MCCB断	予備 MCCB断	制御変圧器 1次 MCCB断	電灯動力盤 照明電源 MCCB断	UPS電源 MCCB断	伝送装置 MCCB断	計装電源 断	取水井 水位低	配水池 水位高
動力変圧器 2次 MCCB断	No.1 送水ポンプ 地絡	No.2 送水ポンプ 地絡	次垂制御盤 地絡	サンプリング ポンプ 地絡	電灯動力盤 (エアコン) 地絡	予備 地絡	制御電源 断	次垂制御盤 制御電源 MCCB断	UPS 異常	伝送装置 異常			配水池 水位低



正面図
<P-Y2>
次垂注入設備制御盤 S=1:10
(SS製屋内壁掛形)

主幹 MCCB断	No.1次垂 注入ポンプ 故障	No.3次垂 注入ポンプ 故障	次垂タンク 補給液位	防液提 漏液
制御電源 断	No.2次垂 注入ポンプ 故障		次垂タンク 液位低	

SI-1	手動	自動
SI-2	停止	運転



正面図
<K-Y1>
電極切替・中継箱収納盤 S=1:10
(SUS製屋外架台設置形)

工事名	北部清掃工場新揚水ポンプ所（仮称） 新築ほか2箇所電気設備工事
事業名	北部清掃工場施設整備事業
工事場所	鹿児島市犬迫町11900番地ほか
図面種類	新揚水ポンプ所 単線結線図、盤外形図 S=1:10 (A3版S=1:20)
図面番号	全 15 の 6 作成年月 令和 7 年 3 月
鹿児島市 環境局 資源循環部 北部清掃工場	

- 注 記
- 部、太線部は今回を示す。
 - 部は機能増設を示す。

凡 例		記 号	名 称
CS-1	操作スイッチ（現場－遠方）		
CS-2	操作スイッチ（手動－自動）		
CS-3	操作スイッチ（停止－運転）		
PB-1	押釦スイッチ（ランプテスト）		
PB-2	押釦スイッチ（故障復帰）		
A	電流計		
FI	流量計		
TP	タッチパネル		
SI-1～5	状態表示灯		
FI-1	集合表示灯		

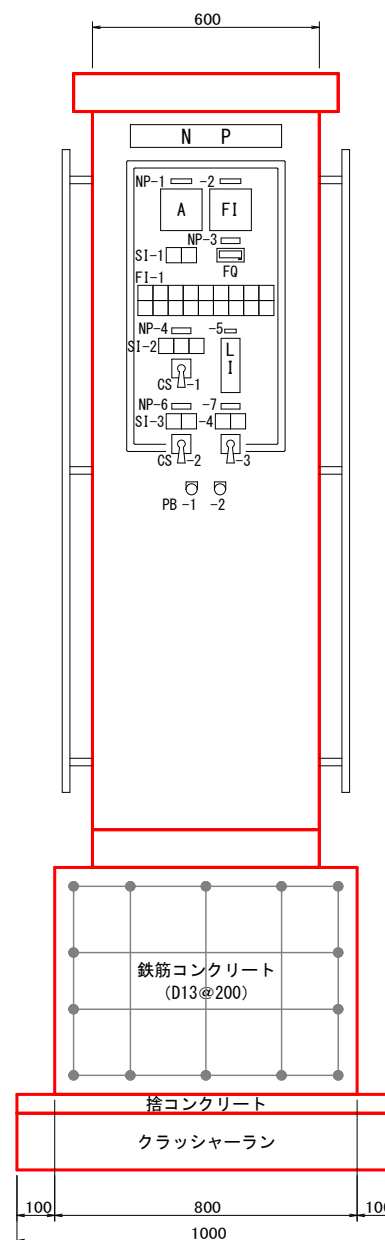


Technical drawing of the NP-1 mobile power supply unit, showing front and side views with dimensions.

Front View (正面図): The unit is 500 units wide. It features a top section with a handle and a label "NP-1". Below this is a large rectangular area, and at the bottom is a section labeled "可搬式発電機 接続口" (Portable generator connection port).

Side View (側面図): The unit is 200 units deep. It shows the profile of the unit, including the handle and the connection port.

N	P	引込開閉器盤
形	式	屋外装柱形（SUS製）
面	数	1面
機	番	WH-S1
NP-1		動力
備	考	



Technical drawing of a rectangular structure, likely a wall or panel, showing dimensions and a grid pattern.

The structure is composed of three main vertical sections:

- Top Section:** A narrow horizontal band at the top, with a width of 600 units.
- Middle Section:** A large rectangular area with a height of 1900 units. It is defined by a red border and contains a grid of 4 rows and 4 columns of dots.
- Bottom Section:** A narrow horizontal band at the bottom, with a height of 100 units.

The overall width of the structure is 1000 units, with 100 units of width on either side of the central 800-unit wide grid area.

Dimensions are indicated by arrows and numbers:

- Top width: 600
- Middle height: 1900
- Bottom height: 100
- Overall width: 1000 (with 100 units on each side of the central grid area)

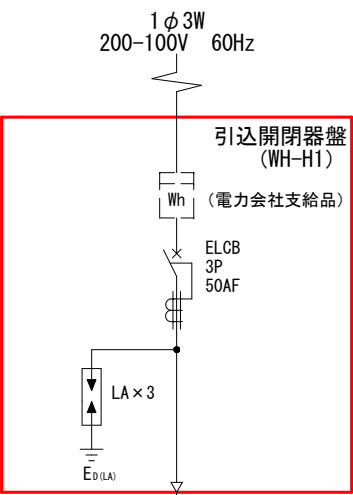
SI-1		
三相電源		
SI-2		
水源地	ポンプ所	中央
SI-3		
手動	自動	
SI-4		
停止	運転	

N	P	取水ポンプ制御盤
形 式		屋外自立形（SUS製）
面 数		1面
機 番		P-S1
NP -1		取水ポンプ電流
NP -2		取水流量
NP -3		取水流量積算
NP -4		操作場所選択
NP -5		取水井水位
NP -6		制御選択
NP -7		取水ポンプ
備 考		スペースヒータ付 コンセント付

凡 例	
記 号	名 称
CS-1	操作スイッチ（現場－遠方）
CS-2	操作スイッチ（手動－自動）
CS-3	操作スイッチ（停止－運転）
PB-1	押釦スイッチ（ランプテスト）
PB-2	押釦スイッチ（故障復帰）
A	電流計
FI	流量計
FQ	流量積算計
LI	水位計（接点付）
SI-1～4	状態表示灯
FI-1	集合表示灯

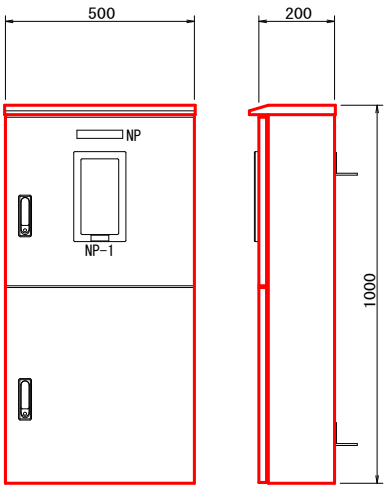
1. 部、太線部は今回を示す。

工事名	北部清掃工場新揚水ポンプ所（仮称） 新築ほか2箇所電気設備工事		
事業名	北部清掃工場施設整備事業		
工事場所	鹿児島市犬迫町11900番地ほか		
図面種類	横井古別府水源地 単線縦線図、盤外形図 S=1:10 (A3版S=1:20)		
図面番号	全 15 の 7	作成年月	令和 7 年 3 月
鹿児島市 環境局 資源循環課 北部清掃工場			



凡 例

記 号	説 明
Wh	電力量計
MCCB	配線用遮断器
ELCB	漏電遮断器
WL	電源表示灯
F	保護ヒューズ
ZCT	零相変流器
CT	変流器
I≧	地絡過電流継電器
LA	避雷器
Tr	変圧器

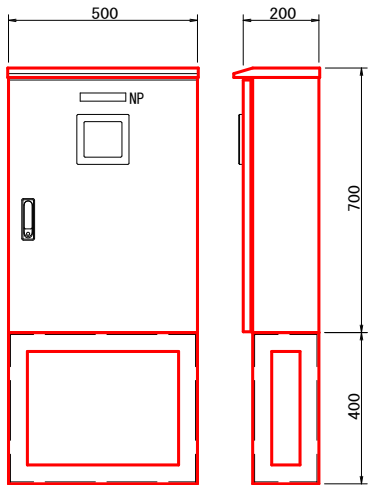


正面図

側面図

<WH-H1>
引込開閉器盤 S=1:10
(SUS製屋外装柱形)

N	P	引込開閉器盤
形 式		屋外装柱形 (SUS製)
面 数		1面
機 番		WH-H1
NP-1		電灯
備 考		

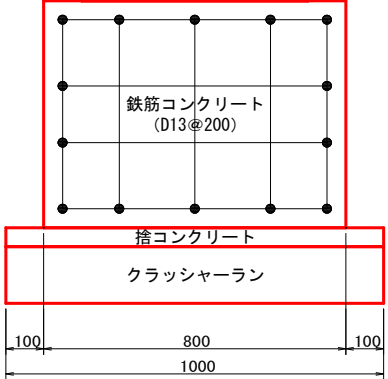
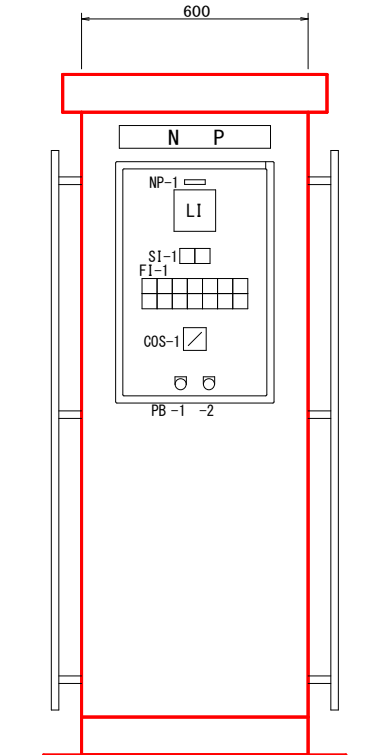
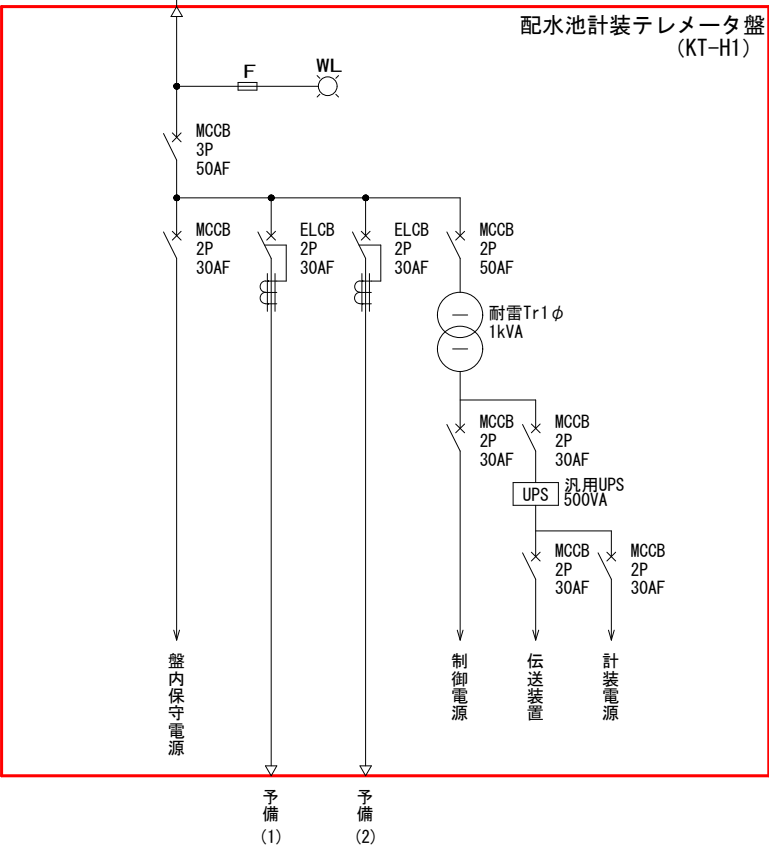


正面図

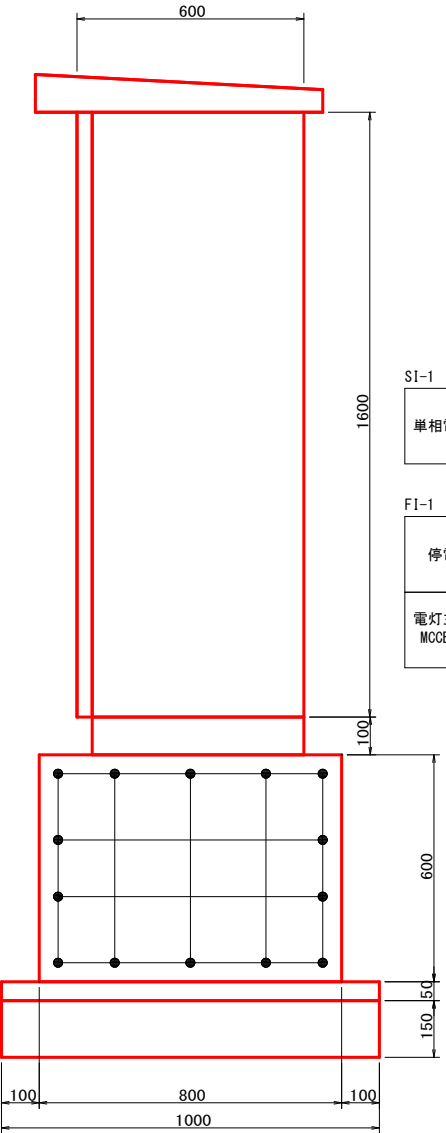
側面図

<K-H1>
電極切替・中継箱収納盤 S=1:10
(SUS製屋外架台設置形)

N	P	電極切替・中継箱収納盤
形 式		屋外架台設置形 (SUS製)
面 数		1面
機 番		K-H1
備 考		盤内に切替スイッチ 「No. 1-No. 2」取付



正面図



側面図

<KT-H1>
配水池計装テレメータ盤 S=1:10
(SUS製屋外自立形)

SI-1

単相電源	
------	--

FI-1

停電	盤内保守電源 MCCB断	耐雷変圧器 1次 MCCB断	UPS電源 MCCB断	伝送装置 MCCB断	計装電源 断	配水池 水位高
電灯主幹 MCCB断	予備 (1) ELCB断	予備 (2) ELCB断	UPS 異常	伝送装置 異常	制御電源 断	配水池 水位低

N	P	配水池計装テレメータ盤
形 式		屋外自立形 (SUS製)
面 数		1面
機 番		KT-H1
NP -1		配水池水位
備 考		スペースヒータ付 コンセント付

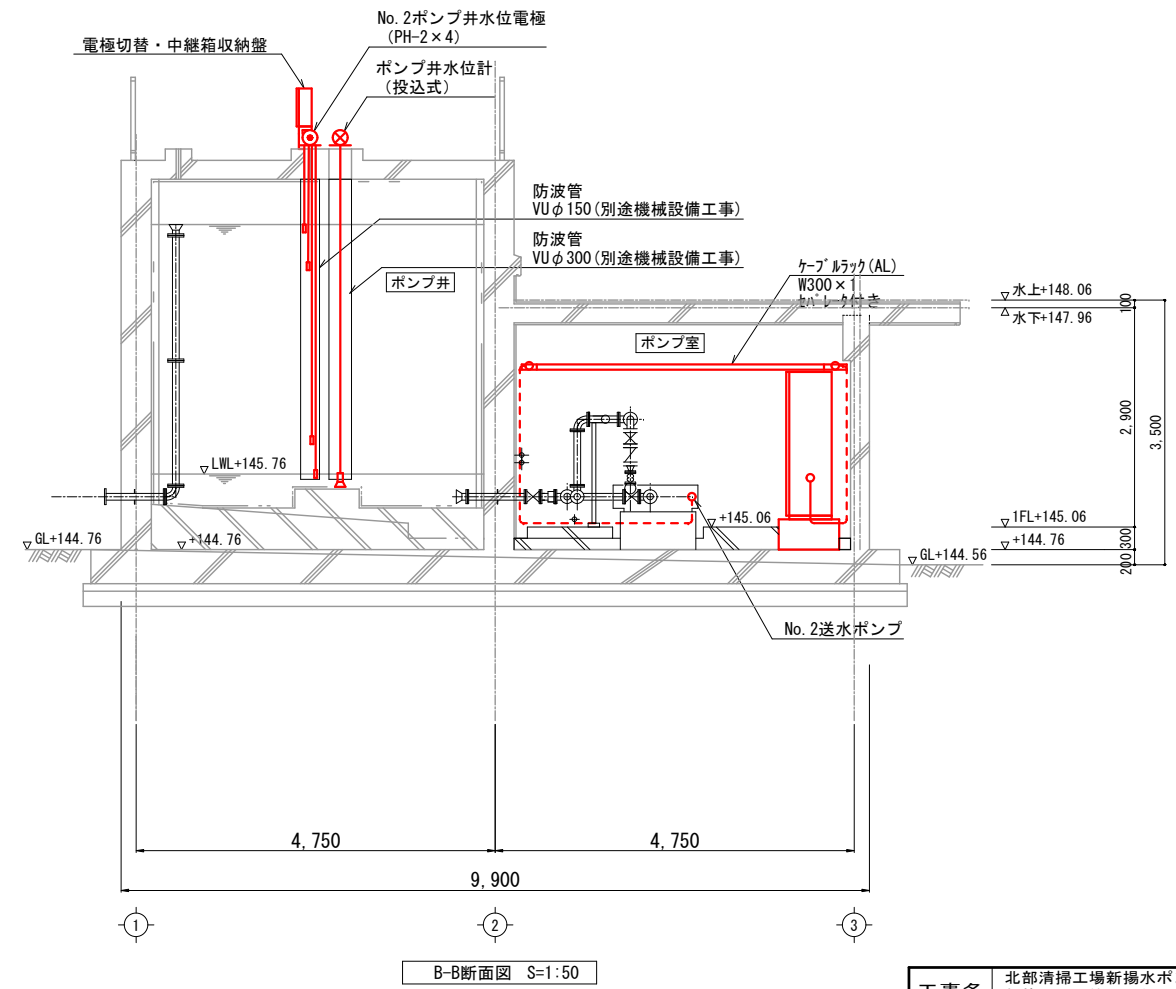
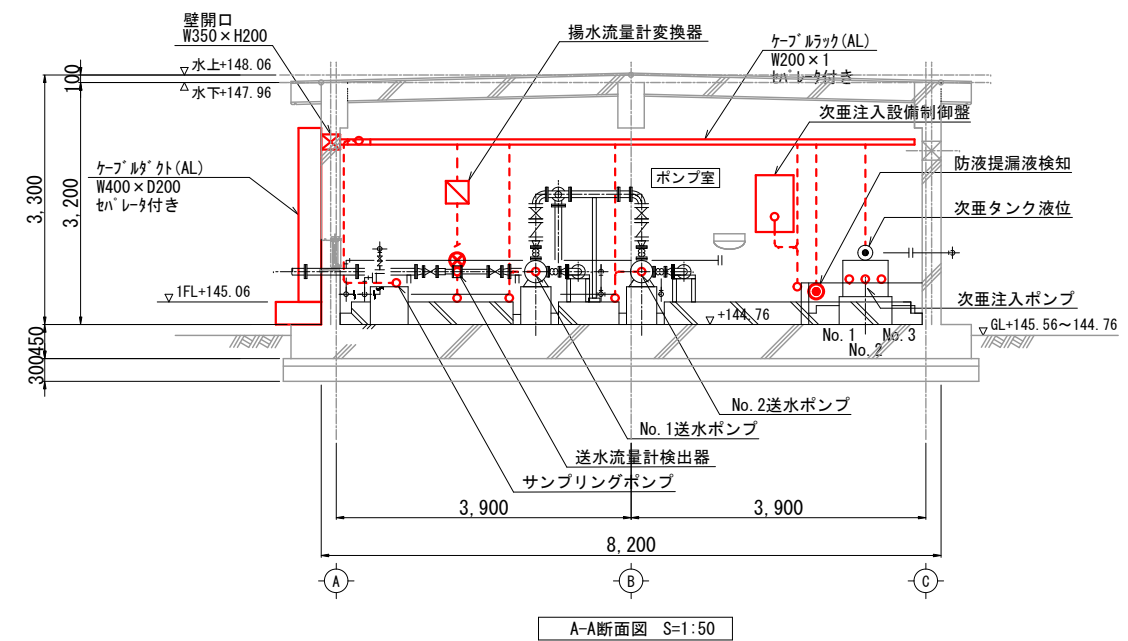
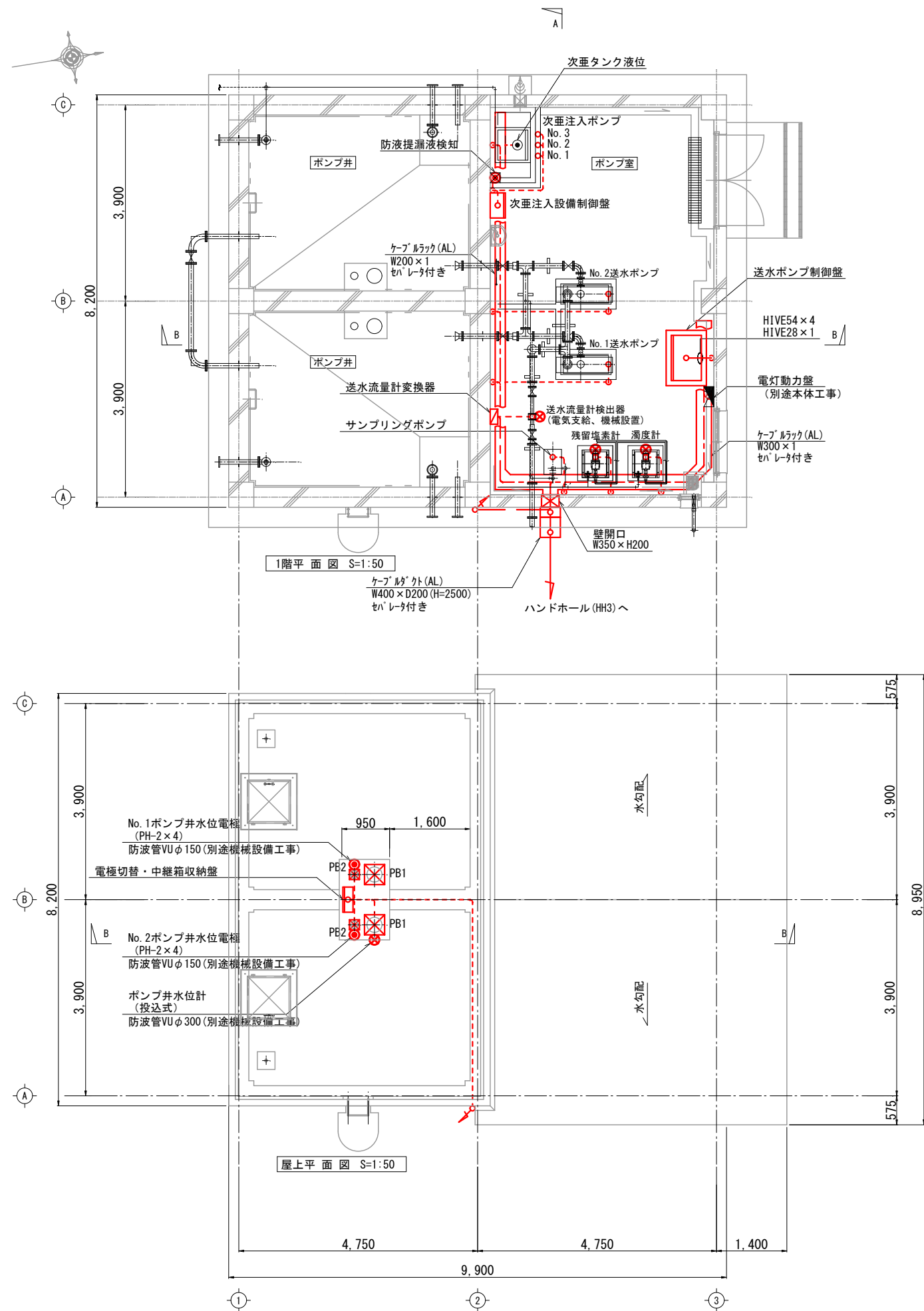
凡 例

記 号	名 称
COS-1	切換スイッチ (水位計-電極)
PB-1	押釦スイッチ (ランプテスト)
PB-2	押釦スイッチ (故障復帰)

注 記

1. 部、太線部は今回を示す。

工事名	北部清掃工場新揚水ポンプ所 (仮称) 新築ほか2箇所電気設備工事		
事業名	北部清掃工場施設整備事業		
工事場所	鹿児島市犬迫町1190番地ほか		
図面種類	北部清掃工場配水池 単線結線図、盤外形図 S=1:10 (A3版S=1:20)		
図面番号	全 15 の 8	作成年月	令和 7年 3月
鹿児島市 環境局 資源循環部 北部清掃工場			



凡例表				
記号	名称	仕様	備考	
☒ PB1	ブルボックス	400×400×300 SUSWP		
☒ PB2	ブルボックス	200×200×200 SUSWP		

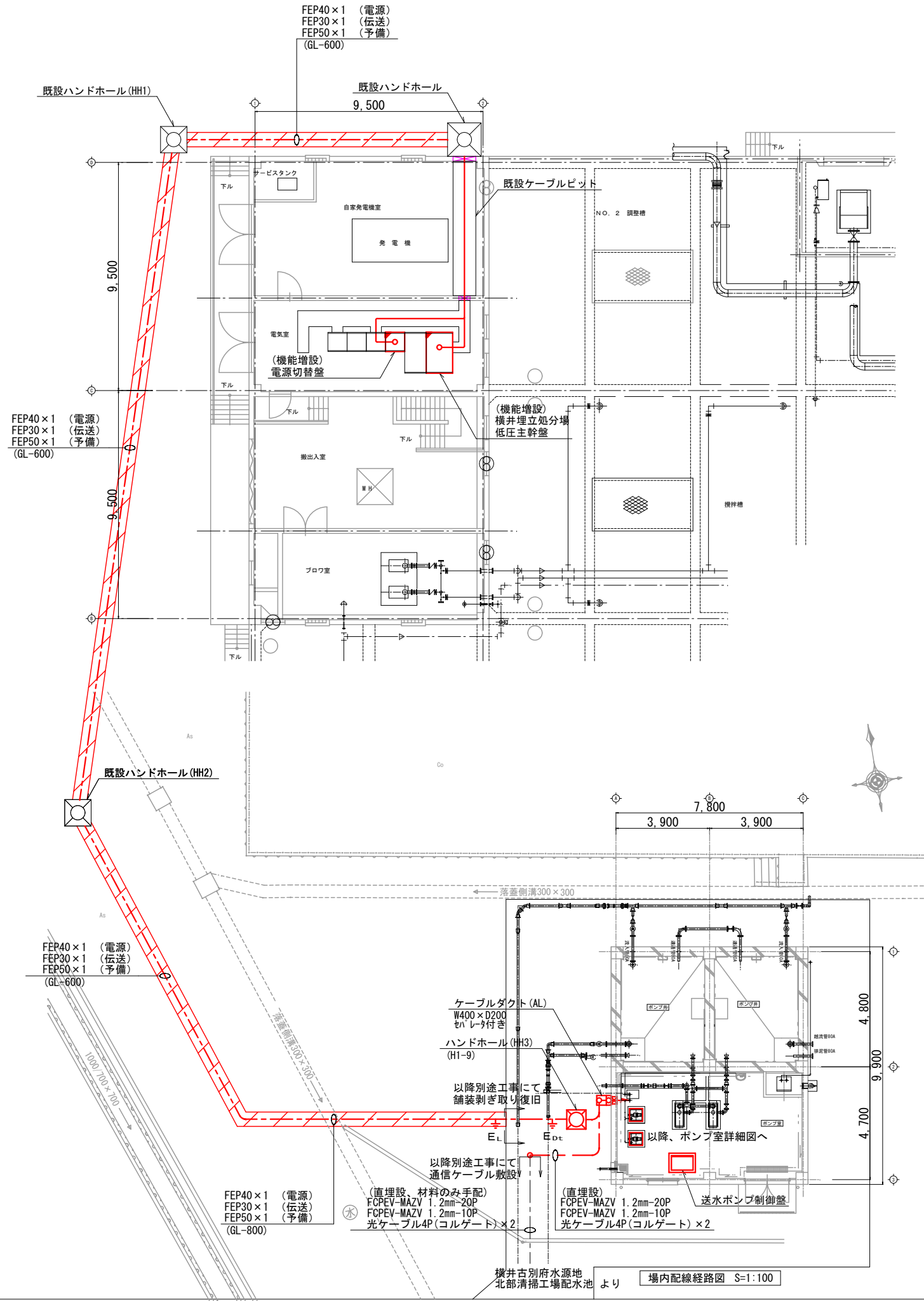
注記

1. 部、太線部は今回を示す。

2. 部は機能増設を示す。

3. 電磁流量計の材料・結線・試運転は電気設備工事、設置は機械設備工事とする。

工事名	北部清掃工場新揚水ポンプ所（仮称）新築ほか2箇所電気設備工事		
事業名	北部清掃工場施設整備事業		
工事場所	鹿児島市犬迫町11900番地ほか		
図面種類	新揚水ポンプ所電気設備配置配線平面断面図 S=1:50 (A3版S=1:100)		
図面番号	全 15 の 9	作成年月	令和 7 年 3 月
鹿児島市 環境局 資源循環部 北部清掃工場			
株式会社NJS TEL092-281-9052			

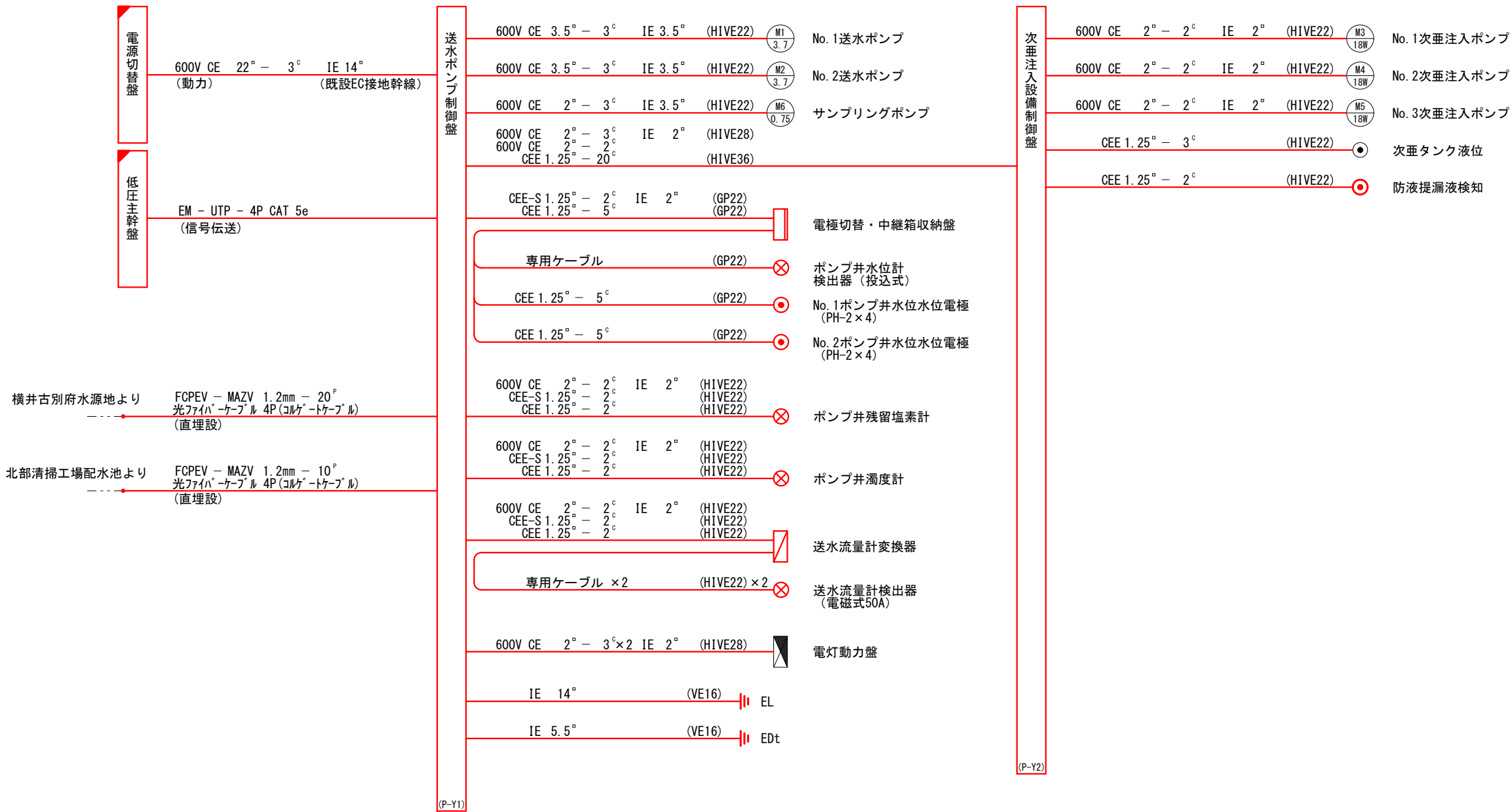


ハンドホール内部材			
名 称	仕 様	個数	備 考
ハンガーポスト	75×75×700	4 本	
ケーブルハンガー	210C	8 本	
支持碍子	R-50	8 個	

- 注 記
- 部、太線部は今回を示す。
 - 部は機能増設を示す。
 - 部は舗装剥き取り、復旧範囲。
 - 地中埋設配管部は、下記を含む。
 - 舗装剥き取り／復旧
 - 掘削／埋戻し

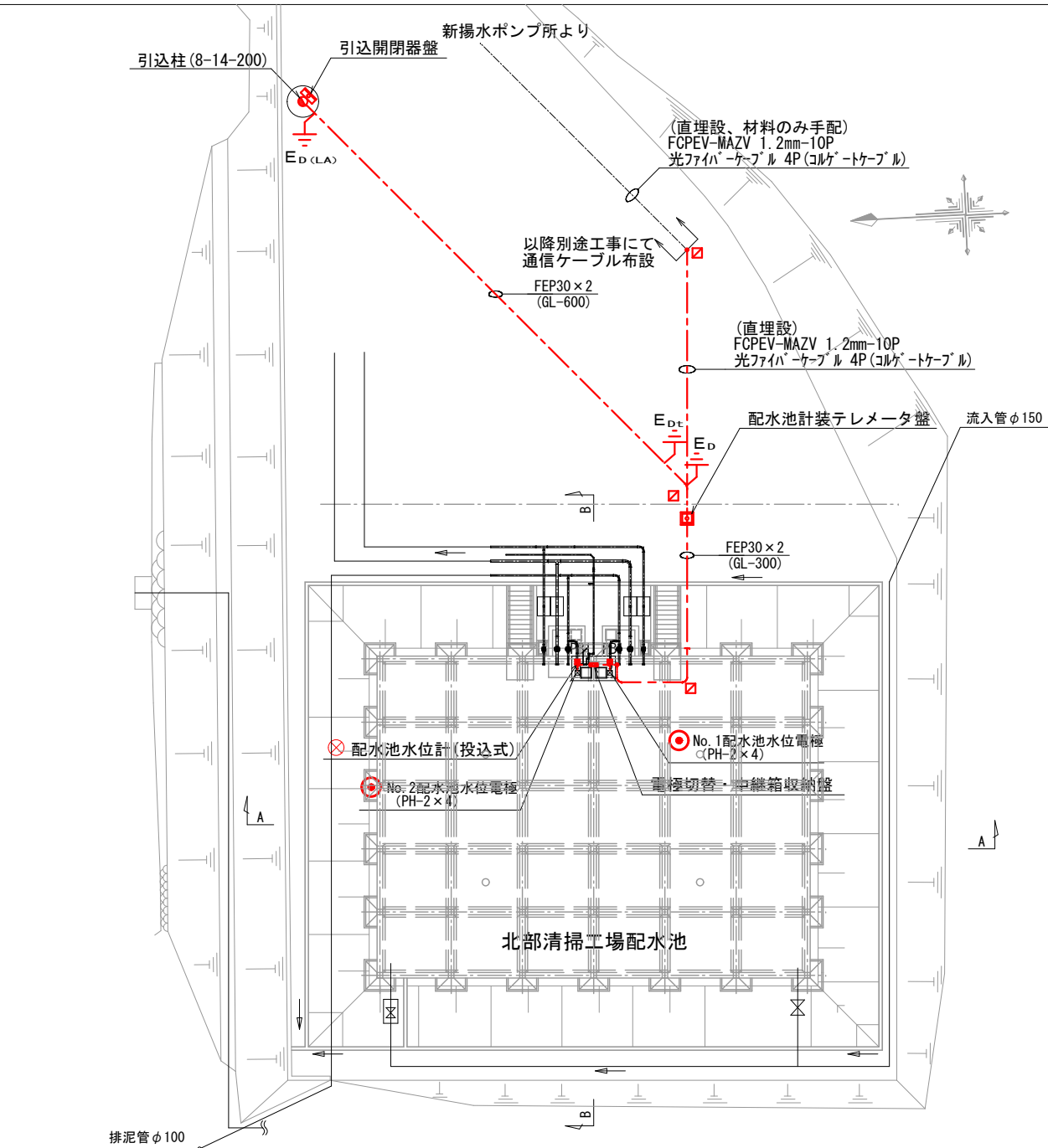
工事名	北部清掃工場新揚水ポンプ所（仮称） 新築ほか2箇所電気設備工事		
事業名	北部清掃工場施設整備事業		
工事場所	鹿児島市犬迫町11900番地ほか		
図面種類	新揚水ポンプ所 場内配線経路図 S=1:100 (A3版S=1:200)		
図面番号	全 15 の 10	作成年月	令和 7 年 3 月
鹿児島市 環境局 資源循環部 北部清掃工場			

配線系統図（今回）

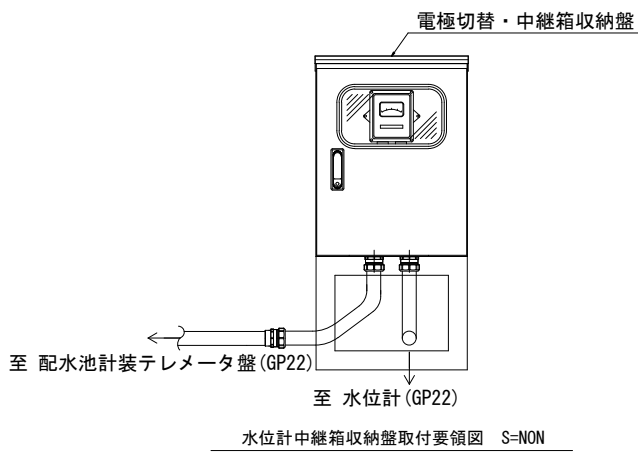


- 注 記
- 部、太線部は今回を示す。
 - 部は機能増設を示す。

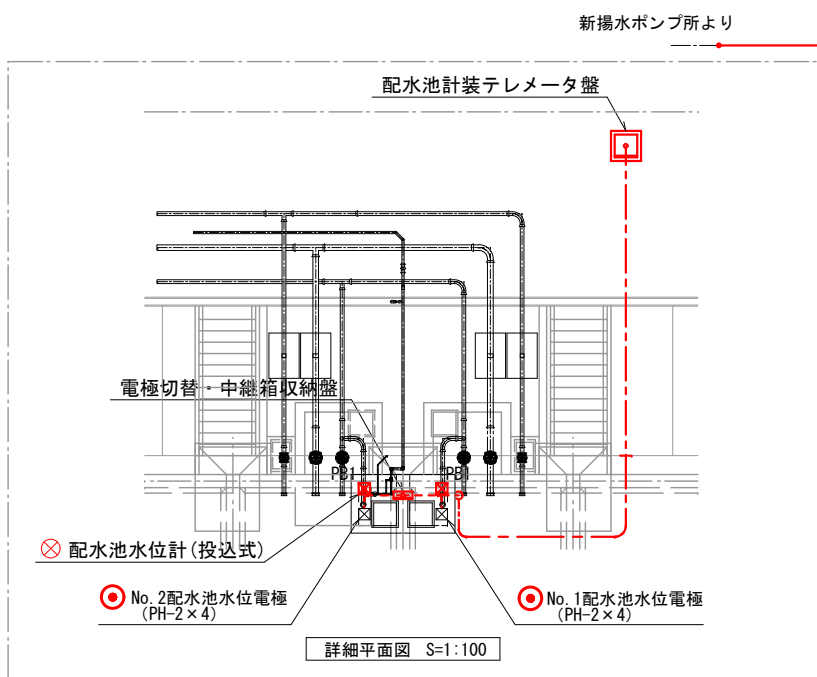
工事名	北部清掃工場新揚水ポンプ所（仮称） 新築ほか2箇所電気設備工事		
事業名	北部清掃工場施設整備事業		
工事場所	鹿児島市犬迫町11900番地ほか		
図面種類	新揚水ポンプ所 配線系統図 S=NONE (A3版S=NONE)		
図面番号	全 15 の 11	作成年月	令和 7年 3月
鹿児島市 環境局 資源循環部 北部清掃工場			



平面図 S=1:200

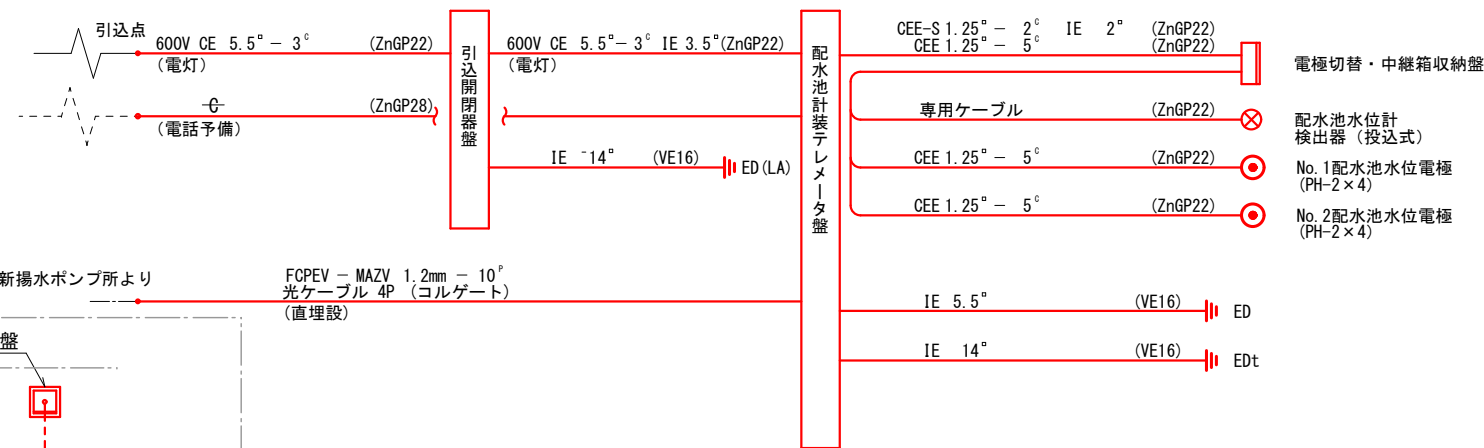


水位計中継箱収納盤取付要領図 S=NON



詳細平面図 S=1:100

配線系統図 (今回)

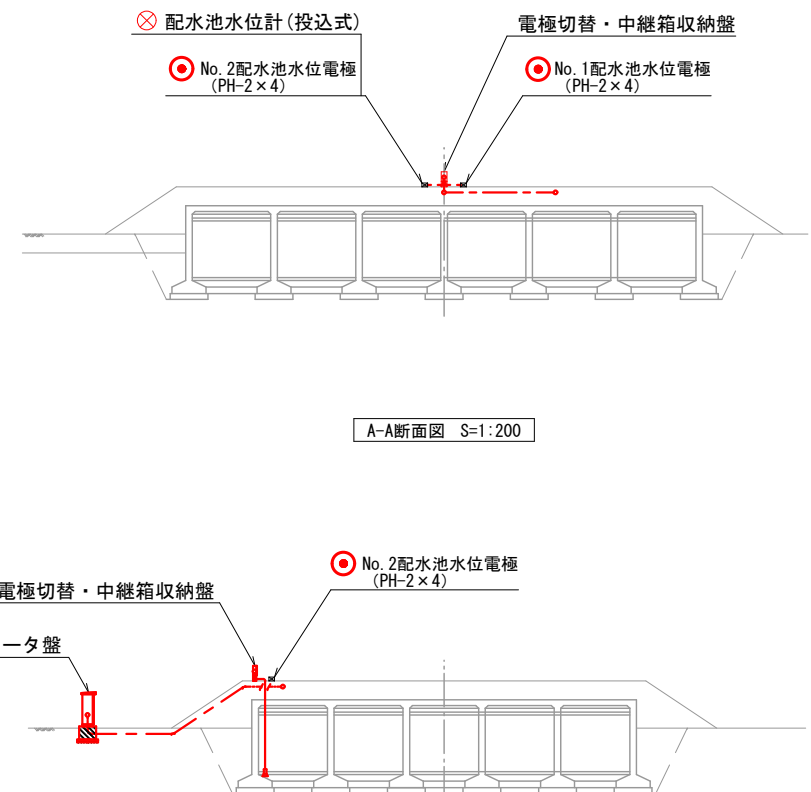


凡例表

記号	名称	仕様	備考
☒ PB1	ブルボックス	300×300×200 SUSWP	
☒	地中埋設標	コンクリート製	

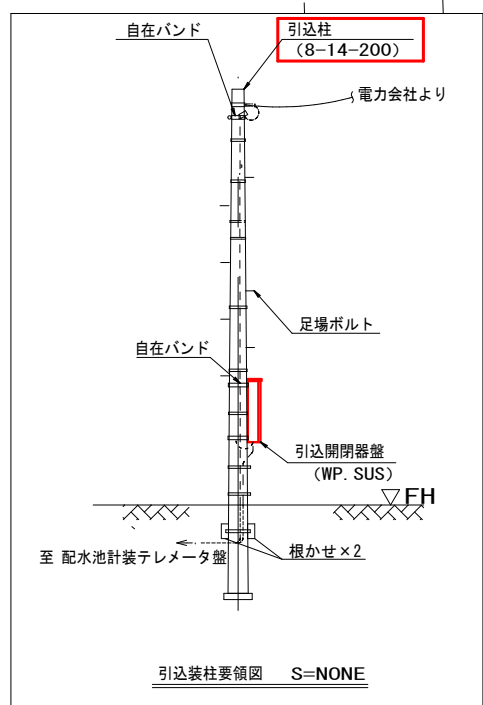
注記

1. 部、太線部は今回を示す。



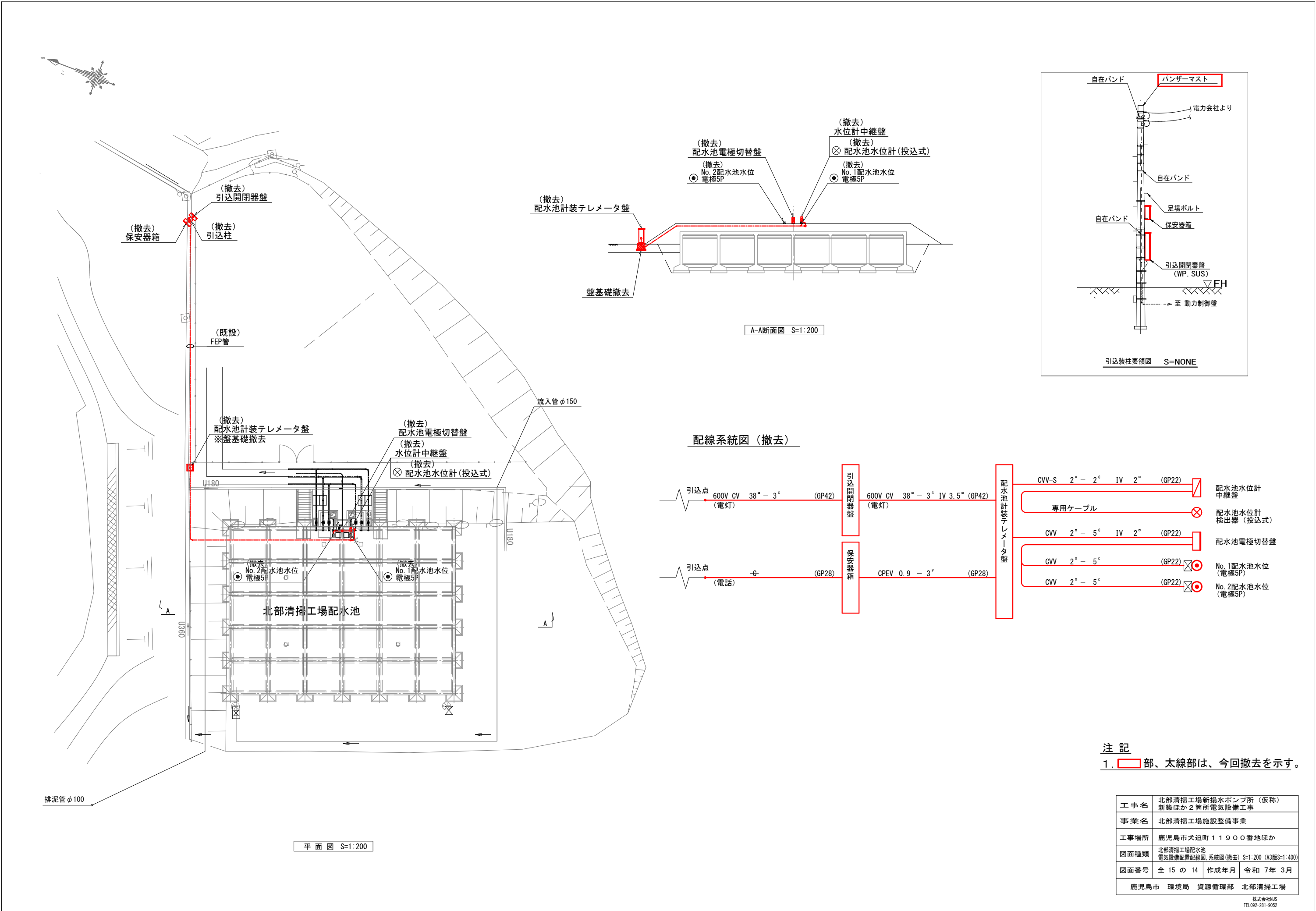
A-A断面図 S=1:200

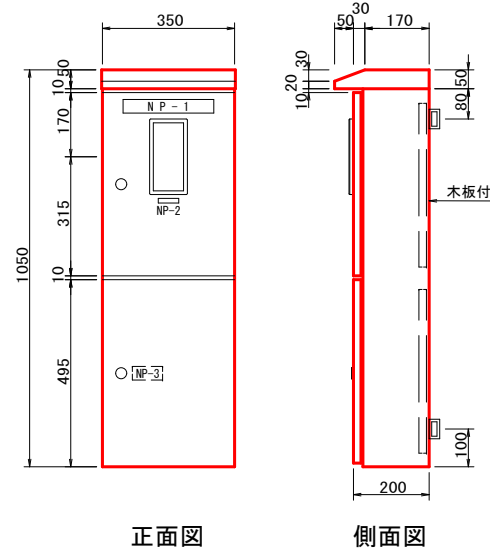
B-B断面図 S=1:200



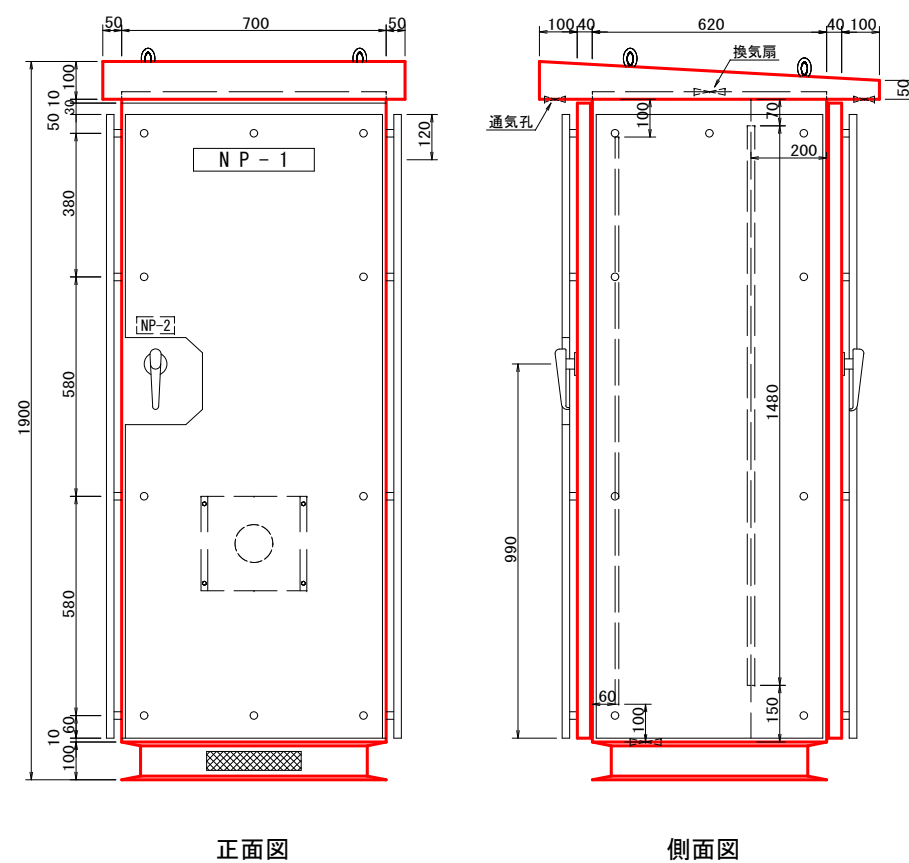
引込柱要領図 S=NONE

工事名	北部清掃工場新揚水ポンプ所 (仮称)
事業名	新築ほか2箇所電気設備工事
工事場所	北部清掃工場施設整備事業
図面種類	鹿児島市大迫町11900番地ほか
図面番号	北部清掃工場配水池電気設備配置配線図、系統図 S=1:200 (A3版S=1:400)
作成年月	令和7年3月
鹿児島市 環境局 資源循環部	北部清掃工場

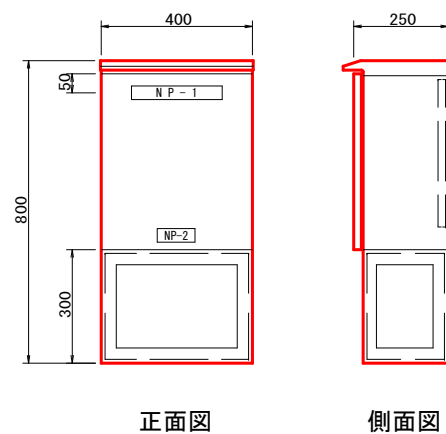
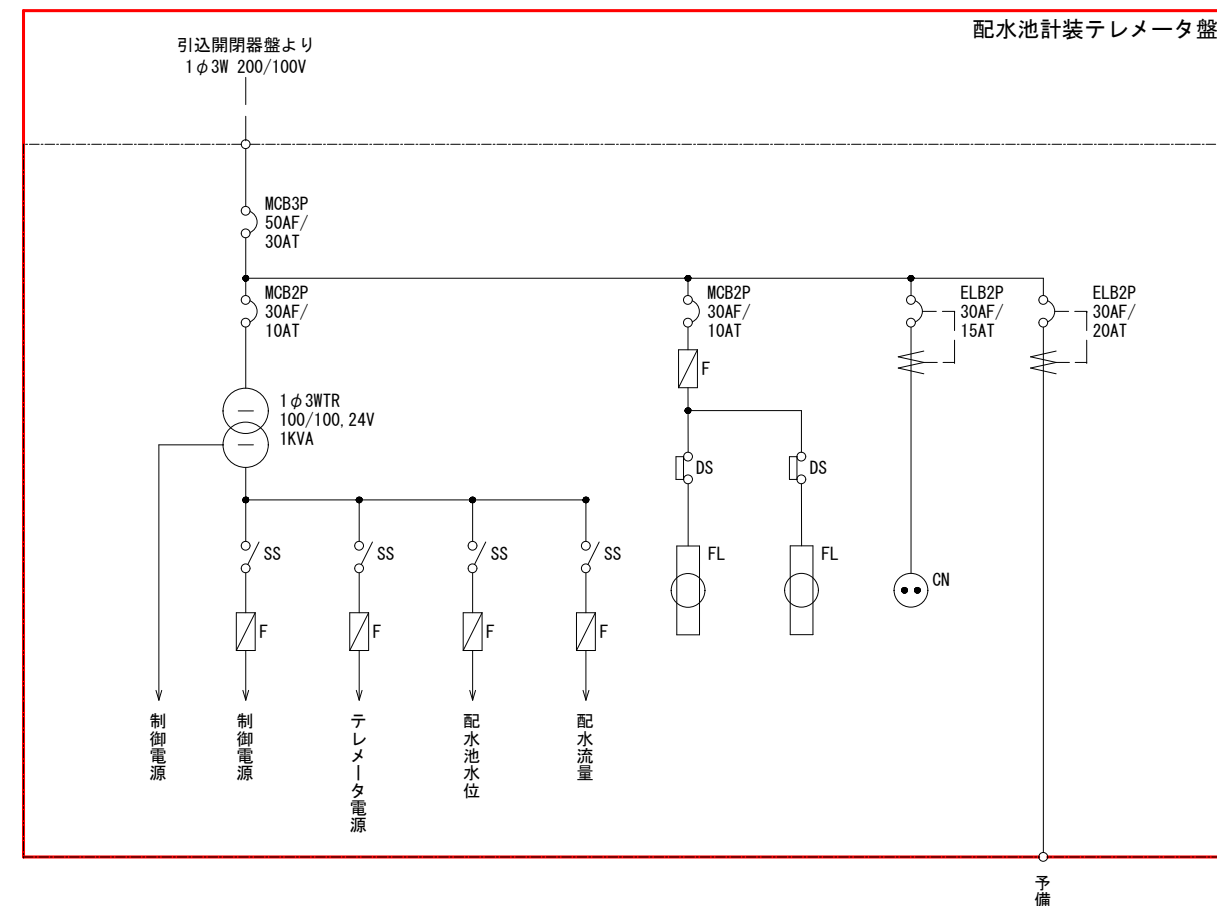




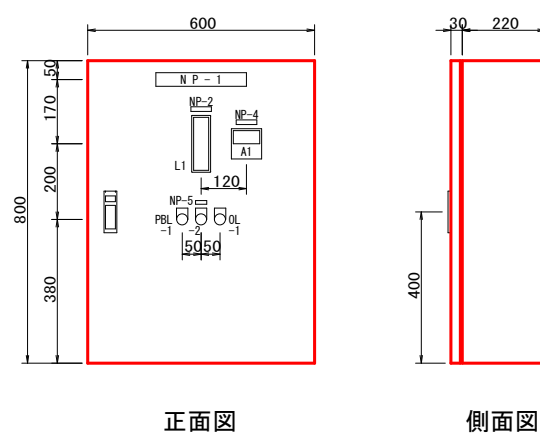
引込開閉器盤姿図 S=1:10



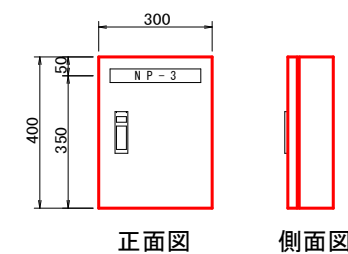
配水池計装テレメータ盤 外形図 S=1:10



水位計收納盤 S=1:10



第一深井戸水位計 S=1:10



專用回線保安器箱 S=1:10

注 記

1. 部、太線部は今回撤去を示す。

工事名	北部清掃工場新揚水ポンプ所（仮称） 新築ほか2箇所電気設備工事		
事業名	北部清掃工場施設整備事業		
工事場所	鹿児島市大迫町11900番地ほか		
図面種類	北部清掃工場配水池 単線結線図、盤外形図（撤去） S=1:10 (A3版S=1:20)		
図面番号	全 15 の 15	作成年月	令和 7年 3月
鹿児島市 環境局 資源循環部		北部清掃工場	